

# 宇部市民オーケストラ

## 第12回 気軽にアンサンブル

♪ 日時：2013年7月7日（日）午後2時開演

♪ 場所：ヒストリア宇部 1階イベントホール

♪ 主催ならびに演奏：宇部市民オーケストラ

♪ 後援：宇部市民オーケストラ後援会



本格的な夏の訪れも近い今日この頃ですが、本日は宇部市民オーケストラの「気軽にアンサンブル」にご来場いただきありがとうございます。この「気軽にアンサンブル」は2002年の開始以来10年余りを経過し、毎年この時期の宇部オケの恒例行事となっており、今回で12回目を迎えました。

ところで、9月1日の宇部市民オーケストラの演奏会「クラシックの午後：気軽にオーケストラ」は「アメリカ音楽特集」ですが、今日は弦楽アンサンブルで少しだけアメリカの音楽を先取りしてみました。それでは、日曜日の午後のひととき、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

### プログラム



#### 1. 「あまちゃん」、「千の風になって」、「モルダウ」

マリンバ：貞国 泰子、カホン：山元 紀世子、Trb：山本 忍、Pf：阿部 優美（賛助出演）

#### 2. ハイドン：ディベルティメント変ロ長調（木管5重奏）

F1：永岡 桜、Ob：中村 香織、Cl：向山 尚志、Fg：伊藤 浩太、Hr：藤本 弥恵

#### 3. ベートーヴェン：交響曲第8番（弦楽版） 第2、3楽章

Vn1：安永 恵、池田 芳江、縄田 美言、松井 顕子 Vn2：清水 治子、大石 正興、佐貫 政彰、長岡 祥

Va：濱野 妙子、伊藤 紘二、上野 明弘、吉本 宗明 Vc：藤野 緑、栗林 宏明、佐伯 真理子、山本 真由

Cb：藤野 隆

#### ◇ ◇ ◇ 休憩 ◇ ◇ ◇

#### 4. モーツァルト：弦楽4重奏曲第19番ハ長調K.465『不協和音』より第1楽章

Vn1：安永 恵、Vn2：清水 治子、Va：濱野 妙子、Vc：栗林 宏明

#### 5. ブルッフ：7重奏曲変ホ長調より第1、2楽章

Vn1：笹本 真理子、Vn2：清水 治子、Vc：藤野 緑、Cb：藤野 隆

Cl：向山 尚志、Fg：伊藤 浩太、Hr：福田 誠

#### 6. バーバー 「セレナード」より 第3楽章「ダンス」

フォスター 「夢路より」

アンダーソン 「ワルツィング・キャット」

（演奏者は、3. と同じ）

} 弦楽アンサンブル



## ♪♪♪ 曲 目 紹 介 ♪♪♪

### 1. 「あまちゃん」

現在放送中の NHK 朝ドラのテーマ曲です。大友良英の作曲、「北三陸鉄道」の列車が軽快に走行するイメージで出発進行！

#### 「千の風になって」

新井満作曲、2006年に秋川雅史氏によって大ヒットしました。

#### 「モルダウ」

チェコ出身のスメタナ作曲。皆さん聞き慣れた曲だと思いますが今日はオーケストラとは違う感じで演奏します。

### 2. ハイドン：ディベルティメント変ロ長調（木管5重奏）Hob. II. 46

4つの楽章からなる素朴で楽しい小品。第2楽章は「聖アントニウスのコラール」と記されており、後にブラームスがこの旋律を用い「ハイドンの主題による変奏曲」という管弦楽曲を作曲しています。ただし近年では、この曲そのものがハイドン作でないか、少なくとも第2楽章のコラールはハイドンの作ではなく、古くからある賛美歌の旋律を引用したものと考えられています。

### 3. ベートーヴェン：交響曲第8番（弦楽版） 第2、3楽章

この曲はベートーヴェン自身が「小交響曲」と呼んだように、規模の小さな作品ですが、その中に力強さや情熱がはみ出るほどにたっぷり盛り込まれています。また何といたってもユーモアのセンスが所々に散りばめられているのが特徴的です。今回は 前回の第1楽章に続き、第2楽章スケルツァンド、第3楽章メヌエットを弦楽アンサンブルで演奏します。

### 4. モーツァルト：弦楽4重奏曲第19番ハ長調 K. 465『不協和音』より第1楽章

第1楽章の冒頭 22 小節に、きわめて大胆な和声効果をもつ序奏がおかれていることから『不協和音』の愛称で知られていますが、序奏以外はモーツァルトらしい明快な曲で、室内楽の中でも屈指の名作の一つです。いつか全曲通して演奏したいと思っています。

### 5. ブルッフ：7重奏曲変ホ長調より第1、2楽章

ドイツ・ロマン派の作曲家マックス・ブルッフ（1838～1920）が 11 歳の時にゲーテの生誕 100 年を記念して 1849 年に作曲、4 つの楽章で構成されます。作品番号のない遺作でしたが、1968 年に楽譜が発見され出版されました。ベートーヴェンの 7 重奏曲やシューベルトの 8 重奏曲に着想を得ていますが、ブルッフ独自の創意がすでに表れており、楽器の使い方などは少年の作品とは思えない成熟を見せています。

### 6. 弦楽アンサンブル

9月1日の宇部市民オーケストラの演奏会「クラシックの午後・気軽にオーケストラ」は「アメリカ音楽特集」です。今日は弦楽アンサンブルで、少しだけアメリカの音楽を覗いてみましょう。9月の演奏会ではフルオーケストラと尾形大介さんのピアノでアメリカ音楽の名曲の数々をたっぷりお楽しみ下さい。

#### ・バーバー：「セレナード」作品1より 第3楽章「ダンス」

「弦楽のためのアダージョ」でよく知られた作曲家バーバー（1910～1981）は、新ロマン主義の作曲家として管弦楽、室内楽、オペラ、歌曲等多く作品を残していますが、その中から甘くロマンチックな3つの楽章からなる弦楽合奏のためのセレナードより、可愛らしくおしゃれな第3楽章をお聴き下さい。

#### ・フォスター：「夢路より」

「アメリカ音楽の父」とも称されるフォスター（1826-1864）。彼の美しく親しみやすい歌は、アメリカのみならず、世界中に広まり、世界の愛唱歌として歌い継がれています。今日演奏する「夢路より」は美しいセレナードで、フォスター晩年の傑作とされています。

#### ・アンダーソン：「ワルツィング・キャット」

アメリカ軽音楽の巨匠・ルロイ・アンダーソンによる 1950 年の作品。ワルツの旋律の中、猫の鳴き声をイメージした演奏が続き、最後には犬に吠えられて猫が逃げ出す様子が描かれています。